



目次

01	はじめに	2
02	イセ工業について	3
03	ロケット開発にも選ばれた品質	4
04	具体的な取り組み	5-12
05	今後の取り組み	12

01 はじめに



SDGs の達成に向けて、企業としてできること

本資料は、当社が推進する SDGs(持続可能な開発目標)に関する取り組みをご紹介するものです。 持続可能な社会の実現に向け、当社では毎年 SDGs の視点を取り入れた目標を社内で設定し、全社 員で共有・確認しながら、具体的な活動に取り組んでいます。

取り組み内容は、日々の業務に SDGs の意識を組み込むことで、社員一人ひとりが自分の行動と社会課題とのつながりを考えるきっかけとなるよう努めています。

本資料を通じて、当社の姿勢や実践内容を知っていただくとともに、SDGs の達成に向けた共感や連携のきっかけとなれば幸いです。









技術とスピードで未来を創る

イセ工業株式会社は、自動車をはじめとするさまざまな産業分野に向けて、高精度なパイプ加工・アッセンブリー対応を行う会社です。

愛知県に拠点を構え、パイプ曲げやスピニング加工、溶接、金属加工に関する多様なニーズに対応しております。

創業以来、長年にわたり培ってきた職人の手作業による高い技術力と、独自の加工ノウハウにより、多くの試作・開発設計の現場から信頼をいただいております。

特に、自動車の排気系部品(マフラー・マニフォールド等)における小ロット・短納期対応や、中~大径パイプの曲げ加工といった分野においても強みを発揮しています。

また、溶接から組付けまでの一貫対応が可能な体制を整えており、 単なる加工業務にとどまらず、開発パートナーとしての柔軟な提 案力も評価されています。







03 ロケット開発にも選ばれた品質

極限環境に耐える精度と信頼性が、イセ工業の誇り

私たちイセ工業は、国内ロケット開発プロジェクトの部品製作に携わった実績を持っています。 その現場で求められたのは、わずかな誤差も許されない極限の精度と、過酷な環境に耐えうる高い品質保証体制でした。

ロケットに使用される部品には、厳しい条件が課されます。

その要求をクリアするために、熟練の職人技術と精密な加工ノウハウを駆使し、1つひとつの部品と真摯に向き合ってきました。

現在の自動車部品製作や試作開発の現場にも活かされており、「高品質=イセ工業」という信頼につながっています。











○4 具体的な取り組み



SUSTAINABLE GALS DEVELOPMENT GALS





質の高い教育をみんなに

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育 を提供し、生涯学習の機会を促進する



エネルギーをみんなに そしてクリーンに

手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネ ルギーへのアクセスを確保する



産業と技術確信の基盤をつくろう

レジリエントなインフラを整備し、持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る



つくる責任つかう責任

持続可能な消費と生産のパターンを確保する



陸の豊かさも守ろう

自然との共生を目指した、敷地内の緑化活動



パートナーシップで目標を達成しよう

身近な連携から、持続可能な社会づくりへ



○4 具体的な取り組み



質の高い教育をみんなに

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、 生涯学習の機会を促進する

社員一人ひとりの成長と学びを支援する環境づくりに取り組んでいます。

- 新入社員が安城商工会議所のセミナーを受講する
- 入社3カ月、6カ月、1年後にフォロー面談を実施する
- 外部講習の受講機会を与える (ものづくり人材育成研修会・Chat-GPT 研修など)
- 製造部署に必要なスキル研修を受講させる (ガス溶接・浸透探傷検査など)

こうした継続的な教育機会の提供を通じて、誰もが公平に学び、成長できる職場環境づくりを目指しています。









エネルギーをみんなに そしてクリーンに

手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへの アクセスを確保する

持続可能な社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの活用を積極的に進めています。



当社では、温室効果ガスの排出削減と持続可能なエネルギーの利用促進を目的として、2024 年 4 月より事業所全体の電力使用量の 5%を中部電力ミライズの「CO₂フリー電気」に切り替えました。

この CO_2 フリー電気は、中部電力ミライズが供給する電気に、当社グループが保有する水力発電所などの再生可能エネルギー由来の「非化石証書」を組み合わせることで、実質的に再生可能エネルギー 100% かつ CO_2 排出ゼロとみなされる電力です。

また、「地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)」に基づく温室効果ガス排出量の算定においても、本メニューを利用した分は排出係数をゼロとして扱うことができ、企業としての環境負荷の低減が明確に示せます。

今後も当社では、再生可能エネルギーの活用を段階的に拡大し、地球環境への配慮を実践してまいります。







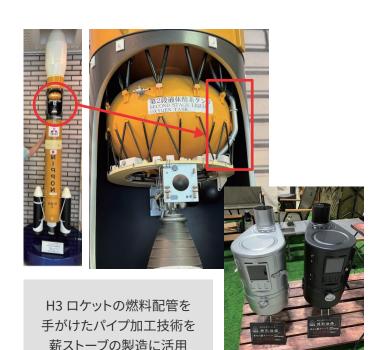


産業と技術革新の基盤をつくろう

レジリエントなインフラを整備し、持続可能な産業化を推進 するとともに、イノベーションの拡大を図る

長年培ってきた製造技術と開発力を活かし、持続可能な産業の発展と社会課題の解決に 貢献する製品づくりに取り組んでいます。





H3 ロケットに搭載される配管の製作を通じて培った高度 な加工技術や品質管理の知見を活かし、新たな製品づく りに取り組んでいます。

その一環として、薪ストーブや焚き火台といった、暮らしやアウトドアシーンを豊かにする製品の開発・製造・販売を開始しました。宇宙分野で培った精密で信頼性の高いものづくりの技術を、一般消費者の生活に還元することで、より快適で持続可能なライフスタイルの提案を行っています。

産業の枠を超えたイノベーションの実現と、持続可能な 製品開発を通じて、これからも社会に貢献するものづくり を進めてまいります。

04 具体的な取り組み





つくる責任 つかう責任

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

製造工程で発生する廃棄部材を再利用し、アイデア製品として新たな価値を持たせた商品 づくりに取り組んでいます。







製造工程で発生する鉄の廃材(パイプ・板など)を再活用し、資源 を無駄にしないものづくりに取り組んでいます。素材としての品質に 問題がないにもかかわらず廃棄される部材に、新たな価値を見出す ことで、資源の有効利用と環境負荷の軽減を目指しています。

具体的には、鉄の廃材を利用して、社内で使用する花のプランター 置きや収納棚などを製作。社員が日常的に目にする場所で再利用す ることで、持続可能な取り組みを身近に感じられる工夫を行っていま す。

また、同じく鉄の廃材を活用して製作したアウトドア用のロウソク立ては、自社製品として販売も行い、環境配慮とデザイン性を兼ね備えたアイテムとしてご好評をいただきました。

今後も「つくる責任・つかう責任」を果たす企業として、限りある資源を活かしながら、持続可能な生産と消費のあり方を追求してまいります。









陸の豊かさも守ろう

自然との共生を目指した、敷地内の緑化活動

敷地内に草木や花を植えることで、環境保全と生態系保護に取り組んでいます。

陸域の生態系保護や環境保全の観点から、事業活動と調和した緑化を進めています。具体的には、敷地内に植栽スペースを設け、草木や花などの緑を増やす取り組みを継続的に行っています。

こうした緑化活動は、地域の生物多様性の維持やヒートアイランド現象の緩和にもつながるものであり、持続可能な地域環境づくりの一助となると考えています。

今後も私たちは、自然との共生を意識した環境づくりを推進し、「陸の豊かさを守る」企業としての責任を果たしてまいります。













パートナーシップで目標を達成しよう

身近な連携から、持続可能な社会づくりへ

パートナーとの連携を通じて、持続可能な社会づくりに貢献しています。



日々の業務において関わるパートナー企業との信頼関係を大切にし、持続可能な社会の実現に向けた協力体制を築いています。

その一環として、食弁当を納品いただいている取引先より依頼を受け、弁当容器や包装ごみの適切な分別に協力する取り組みを行っています。ゴミの回収や処理にかかる負担を軽減するだけでなく、再資源化の促進にもつながるこの取り組みは、日常の中でできるパートナーシップの一つです。

今後もこうした小さな連携の積み重ねを大切にし、パートナー企業とともに持続可能な目標の達成を目指してまいります。





05 今後の取り組み

当社では、これまでに実施してきた取り組みを継続・発展させながら、より良い企業活動と社会貢献を目指して、今後もさまざまな課題に積極的に取り組んでまいります。



すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、 福祉を推進する

全社員を対象に健康診断を実施しており、今後は「健康経営」について学びながら、社員の健康を大切にする取り組みを始めていく予定です。



Initiatives

人や国不平等をなくそう

国内および国家間の不平等を是正する

当社では外国籍の方の採用を積極的に進めており、現在は正社員として2名、契約社員として1名が在籍しています。



機構変動に具体的な対策を

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

敷地内の照明はすべて LED へ変更する予定で、一部はすでに切り替えを完了しています。 また、空調機についても、省電力型の新機種へ順次入れ替えを進めています。